

a 学校教育目標	自らの夢に向かって考え、行動できる子供の育成 —自ら伸びる ともに伸びる—	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 自分で考え、みんなと考え、行動できる児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 児童、教職員、保護者が「自ら伸びる ともに伸びる」という教育風土を持った学校 ・基礎・基本が定着し、児童が主体的・対話的に深く学ぶ姿がある学校 ・児童が夢や志をもち、安心して生活できる学校
----------	--	----------------------	---

評価計画					自己評価					改善方策	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント	
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ		
確かな学力	基礎学力の定着を図る。	「話す活動」「書く活動」の充実 すくすくタイム・のびのびタイム 実施	国語科・算数科・理科の単元末テストの結果(各学期)	各学期 各教科 平均85点以上											
	基礎学力の定着を図り、主体的に学ぶ力を育成する。 「学び続ける」ためのコンピテンシー(知識・情報、思考力、表現力、主体性)を育成する。	コンピテンシーの育成を目指した授業改善	児童アンケート「学び合いを通して、自分の意見を友達に伝えることができましたか。」「[表現力、主体性]	肯定的評価80%以上											
		読書の習慣化を目指した取組の充実	読書量(1年間の読書冊数) 1・2年生100冊、3年生90冊、4・5・6年生80冊	達成した児童の割合 70%以上											
豊かな心の育成	自分を愛し、共感する力や思いやりの心、協力し合う態度を育てる。	集団として必要な基本的な生活習慣の定着と幼保小中連携の充実を図る。 「挨拶」「返事」「靴そろえ」の強化月間の実施	教職員及び児童アンケートによる評価「4段階3評価以上」(4月・9月・1月)	肯定的評価全項目平均 80%以上											
	自分を愛する心や思いやりの心、態度を育てる。	お互いを認め合う活動の充実	児童アンケートによる評価「自分にはよいところがある」(4段階3評価以上)(4月・9月・1月)	肯定的評価全項目平均 80%以上											
健やかな体の育成	生涯にわたる健康に対する高い意識を育て、体力の向上を図る。	「早寝」「朝ごはん」の取組の実施	・児童アンケート「決めた時刻に寝ていますか」「毎日、朝食を食べていますか」(4段階3以上)(4月・9月・1月)	肯定的評価 80%以上											
	体力の向上を図り、体を動かすことが楽しいと感じる児童を育成する。	・体育授業の工夫及び改善 ・外遊びやなわとびの奨励	・体力テスト「握力」の結果(6月・1月) ・児童アンケート「週3日以上外遊びをしていますか」「なわとびが楽しいですか」(4段階3以上)(4月・9月・1月)	・6月の数値を1月に上回る児童 90%以上 ・肯定的評価 80%以上											
働き方改善	学習指導要領改訂や新たな教育課題等に適切に対応できる学校体制を構築し、教育の質の向上を図る。	地域・保護者が有する教育力との連携を図り、地域に開かれた教育課程の実現を目指す。	地域の教材化、地域人材活用の推進	地域の教材化と地域GT招聘の実施回数による評価	各学年年間2回以上										
		教職員の長時間勤務を縮減し、健康で生き生きとやりがいをもって勤務できる環境づくりを推進する。	成績処理や教材研究の時間の確保、業務のシェアリング推進、業務改善の継続的実施	市の「学校における働き方取組方針」の「勤務上限の目安時間」の達成(時間外の勤務時間が、月45時間を超えない。)	100%達成										

【j:自己評価 評価】
A:100≦(目標達成) 達成値<100

B:80≦(目標達成) 達成値<80

【l:学校関係者評価 評価】
イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。ハ:分からない。